

百年前の高田の商業地図

名古屋市天白区 太田四郎（本町五丁目出身）

今年の三月に何年か振りで高田の小学校の同級会が東京でありましたが、その時明治時代の高田の商売屋の地図が話題になり、是非みたいものだなど話していました。私は昔の高田の町屋に生れ育つたのですが雪国の特徴で冬天窓から採光するため吹き抜け構造の居間があり、上を見ると太い梁が煤でまつ黒になつております。今それをみればクラッシックで芸調かなと思ったかも知れませんが子供心には汚く感じたのでしよう。大正の初め親父がそこで商売を始めましたがその前はそこは「そばや」だったと聞いておりました。

同級会のあと暫くして高田在住の同級生森川洋子さんから明治三十九年（一九〇六年）発行の「越後高田町商業地図」が送られて来ました。七十五センチ角位の

大きさで真中に高田全体の地図があり、そのまわりに各町内毎に商売屋が二三ヵ所並んであり間口の広い家は大きく狭い家は小さく、そして夫々に商売名や屋号姓名が書かれています。その頃の人口は二一、五三〇、戸数四、七九七と記載されており、これからみても相当こまかい地図です。（第一図）

私の生れた処は昔の町名で中小町（現本町五丁目）の三の辻の近くですがそれらしい処にせまい間口ですが、「そばや田毎」とありました。明治時代にはわが家の処に「田毎」と云う屋号の「そばや」があつたんだと確認することができ、そして天井の梁が黒くなる程火を焚いてそばを茹でたのかなと思うと何だか感無量でした。

またわが家から二三軒北をみると「菊水」マークに「日本葡萄酒株式会社」

と云う処があります。これは岩の原葡萄酒園（明治二十三年創業）の葡萄酒販売強化のため販賣専業の会社を明治三十六年に設立し本社をここにおいて活動した由です。しかし、明治四十二年この会社が不況のため廃業しましたがその後に相川菓子店（会員相川義夫さんの生家）が内藤うるし店（会員内藤実さんの生家）がありますが、その後下小町（現本町六丁目）に移られております。またこの頃の商売を現在も伝統を守られて続け



第一図 越後高田町商業地図

ら洋品屋にまた古物商から陶器屋に商売替えしているお店があります。お店の移転や商売替えなどこの頃は元気よく活潑に行われていたのかなと云う気がしました。

この細かい地図を虫眼鏡をつかつたりし乍らじつくりみてますとまた新たなことが判つたりします。

御承知の通り直江津から関山まで鉄道が開通したのが明治十九年（一八八六年）で今から百二十年位前ですがこの工事の施工をした鹿島組（現在の鹿島建設）の社長鹿島岩蔵が越後高田出身の事業家で美術商でもあつた三館一郎次に赤倉温泉のよさを教えられ赤倉に妙香山の

山にちなんで「香織樓」と云う立派な宿屋を建て、明治十九年に開業したのだそうです。

また一説によれば当時の鉄道局長官の井上勝と云う人が鉄道を開通し便利になつたので景勝の地赤倉にハイカラな宿屋をつくつてみんなに楽しんでもらつてはどうかと勧めたとも云われております。以下鹿島建設百三十年史から抜粋しますと『当時の赤倉は湯治客のような宿屋ばかりだつたから三方ガラス張りの浴室を持つ香織樓は不相応なくらいに飛び抜けた。しかし三館が上野公園で料亭「常盤華壇」を経営していたところ

ますと『当時の赤倉は湯治客のような宿屋ばかりだつたから三方ガラス張りの浴室を持つ香織樓は不相応なくらいに飛び抜けた。しかし三館が上野公園で料亭「常盤華壇」を経営していたところ

ていて高田で商売をしていたことを知り何だか親しさを感じました。上職人町（現大町三丁目）の御馬出し近く、現在の裁判所の西側の辺りに醤油醸造本舗味曾旅館部三館一郎次」と大きな字をみつけました。（第五図）

この辺りはその後、明治四十一年にお城跡に設置された第十三師団司令部への主要道路として拡幅改修され「司令部通り」と呼ばれた処です。

お堀やお花見や学校へ行くのによく通つたなつかしい道でした。

思いつくまゝに今までみつけたことを書き並べてみましたがまだまだ何かあります。

（編集部注・太田会長が古い高田の地図をお持ちと聞いてあまり時間のない中で寄稿をお願いしました）

書きましたがまだ何かありました。

名にちなんで「香織樓」と云う立派な宿屋を建て、明治十九年に開業したのだそ

| 工 | 司 | 中 | 下 |
|---|---|---|---|
| 工 | 司 | 中 | 下 |
| 浦 | 浦 | 浦 | 浦 |
| 原 | 原 | 原 | 原 |
| 森 | 森 | 森 | 森 |

第二図 中小町、杉ノ森



第三図 日本葡萄酒株式会社本社

| 工 | 司 | 中 | 下 |
|---|---|---|---|
| 工 | 司 | 中 | 下 |
| 浦 | 浦 | 浦 | 浦 |
| 原 | 原 | 原 | 原 |
| 森 | 森 | 森 | 森 |

第五図 上職人町

| 工 | 司 | 中 | 下 |
|---|---|---|---|
| 工 | 司 | 中 | 下 |
| 浦 | 浦 | 浦 | 浦 |
| 原 | 原 | 原 | 原 |
| 森 | 森 | 森 | 森 |

第四図 下職人町